

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・井上弘二郎	写真・後藤
山行NO.	1994		
日時	2022年9月25日(日) 晴れ、涼しい(9/24前泊)		
山域	ハッ・阿弥陀岳(2805m) 南稜～中央稜周回		
コース:	9/24(土) 長泉 13:00-新東名-御坂 IC-中央道-小淵沢 IC-某所庭で夕食-某建屋下でテント(泊)-消灯 18:40		
	9/25(日) 起床 4:00-朝食、テント撤収、出発 4:35-舟山十字路発 5:34-堰堤-南稜-キノコ採りの方 6:23-立場岳 7:40-岩場前 9:00-三峰ルンゼ 9:28-阿弥陀岳頂上 10:40~昼食~下山開始 11:12-中央稜-中央稜取り付き 13:27-舟山十字路駐車場着 14:22-地元産直-鹿の湯-キノコ汁、カップ麺 16:30~17:30-長泉 19:30		
標高差	舟山十字路約 1620m~阿弥陀岳 2805m=約 1185m(累計 1215m)		
藪漕度	上り・下り なし		
難易度	非常に困難	レ困難	やや困難 普通 やや易しい 易しい
今までで最高に厳しかった登山			
参加者	後藤、加藤、井上=3名		
ど〜が〜			

この連休は金土と泊まりの山行の予定だったが、台風大雨のため中止。しかし、日曜日完璧晴れ予報で、土曜の朝6時半、「明日山行けるか」のメールと、それに続いて、「今日の午後出られるか」のメール。

送られた計画書に書かれた持ち物はヘルメット、ハーネス、プルージック用シュリンゲ、皮手袋、テント泊とあり、何かとんでもないことになる予感がした。それから午前中は買い物や準備をして、午後出発に漕ぎつけた。



某所の夕食



ぬいぐるみ??

現地に着くと、まず某所駐車場のトイレが使用可能か確認。続いて、テントが張れそうな場所を物色する。ここはダメ、あそこもダメと言いながら移動し、某駐車場下にテーブルとイスがある湖畔(池?)の綺麗なお庭を発見。池には「睡蓮」が咲いていた。

カヤックが有料体験できるようになっていた。駐車場を清掃していたホテルの支配人らしき人に、テーブルで食事をしてよいかと聞くと、OK。駐車場も宿泊者用の表示をわざわざどけて使ってよいと言ってくれた。大変良い人で気に入ってしまった。

聞くと、直近の静岡の大雨で家から出られなくなった客が2組キャンセルになったとのこと。素敵な環境で夕食を取った。ガスコンロで焼き鳥を焼いてビールとワインを飲んだ。



スイレン

当初の予定は某駐車場でテントを張ることにしていたが、当分他の客がいるのでテントはすぐに張れないので、別のテント設営場所を探した。すると、電気のついていない施設がある。入口の軒下がちょうど良い感じだったのが、しかし、勝手に使って後で出て行ってくれと言われても困るので、向かいの宿泊施設に、交渉人加藤さんが向かった。

恒例となった必殺技「泣き落とし」を使い、あっさりOK。自動ドアは作動しており、中のトイレも使ってよいとのこと。昨今のオートキャンプ場並みの環境となった。屋根があ

るのでテントが濡れなくて助かる。テントを設営しながら日が暮れ、ヘッドランプで行動。6時半過ぎには消灯となった。雨は降っていないが、施設の雨どいに水が流れて落ち、音が一晩中鳴っていた。これが気になり、夜の2時ごろ、消音対策を実施しようやく静かになった。



上の二本がマツタケ

翌朝は4時起床。加藤さんが準備したうなぎ茶漬けをいただく。テントも撤収し、4時半過ぎには、車で出発できた。辺りは濃霧。朝霧は快晴の兆しとのこと。某駐車場のトイレ（ウォシュレット）をすまし、舟山十字路を目指した。

駐車場は10台ほどの車で満車。少し下った場所に駐車した。準備を終え出発。林道が長い。寝不足感からか調子が出ない。前回の記録の大石がある分岐ではなくその手前で右に折れる。小さな川を渡る。急登を上がり尾根に出る。キノコ狩りの男性に会う。採ったキノコのなかに小さなマツタケもあった。2370mの立場山（2万5千円では立場岳）まで620mほどグングン上る。キノコが多い。加藤さんのキノコ解説が続く。

立場山を過ぎると、しばらくなだらかで、いったん30mほど下る。景色が開け権現岳が見えた。空は青空、下界は雲海だった。岩場の手前でヘルメットとハーネスを装着し、ザイルを首にかけた。久しぶりのハーネスの装着で後藤さんが手間取ってしまった。



10万円はないでしょう！！

立場山



青ナギ

三峰ルンゼに到着すると、加藤さんがトップで行く。続いて後藤さんが、加藤さんが上で確保したザイルにシュリングをプルージックにして取付けた。私はプルージックが初めてで、結び方と使い方をその場で教えてもらった。

4年前に後藤さんと加藤さんは二人でこのルートに来ており、その時はノーザイルだったが、今回は初めての私のために、安全確保するためにザイルを使用してくれた。万が一にも、嫁入り前の娘を2人持つ私が落ちてはならないという気づかいであった。

ありがとうございます。そのために前回より時間がかかった。プルージックは習ったが、結局は、加藤さんが上からザイルを張って引っ張ってくれたので、それに頼る形になり、プルージックは使わなかった。

ちょっと残念だが、加藤さんは濡れた岩場に座り、ズボンが濡れた状態でザイルを引っ張ってくれたので、全く不安がない状態で登れた。これまた、ありがとうございます。とはいえ、三点確保は絶対で、気持ちの集中が途切れ、中途半端に判断していると、落下は免れないので、真剣勝負だった。

つかむところや足場になる岩のでっばりは、ちゃんとあるので困ることはなかった。恐怖でビビらなければ、登る技術はさほど必要としないが、それでもザイルでつながれているからどんどん登れるが、つながれていなかったら、足がすくんでいたのではないかと今になって思う。

ルンゼを越えても、難所は続く。高所のため呼吸もきつい。しかし、加藤さんだけは、平常の鼻呼吸。コケモモの実がたくさんなり、時々もいでは口に入れ、甘く少し苦い味で気持ちがりセットされる。



阿弥陀岳南面

山頂に到着。4人くらいいただろうか。犬もいた。出発して5時間以上もたつので昼休憩とした。だんだん人が増えてきた。装備が新しいにわか登山者が多い気がした。

周囲の景色はパーフェクトだった。八ヶ岳はもちろん、360度ぐると富士山から北アルプスの槍ヶ岳まではっきりと見えた。赤岳は目前にせまり、最近登った天狗岳や硫黄岳が見えるが、今日登ったルートに比べるとハイキングの山に思えてしまう。

阿弥陀岳南稜はスリル満点だ。山登りにも緊張感があることを少し思い出した。冬の雪山は当然、天候によっては緊張感を体験するが、雪がない絶壁や難所で肝を冷やすような場面はなかなかない。下りは以前登ったことがある中央稜ルート。

下りに使うには厳しい斜面だ。南稜の登りに負けない緊張感が続く。まだまだビールはお預け。赤い色のヘリコプターが西から飛んできて、赤岳の中腹辺りでホバリングをしたり旋回したりしている。遭難者を探しているのだろうか。

ヘリコプターに気を取られ横を向いていると落ちそうな岩場を過ぎ、厳しい下りを抜け、樹林帯に入るが、まだ下りはきつい。残りの標高差があと300mくらいになってようやく



三峰ルンゼ（俯瞰撮影）

緩やかになり、沢の音が聞こえ、木洩れ日のある苔に囲まれて場所で一服し、ここでビールを飲んだ。ほぼ常温だが、最高にうまかった。

環境も最高。絵画に囲まれているみたい。このあたりには黄色のキノコが群生している。高さは大きいもので5cmくらい、傘はなく、耳たぶのよう。ひんやりとしてプニプニでグミのよう。

加藤さん曰く、富士山では人気のキノコですぐに採られてなくなり、サラダに入れるとおいしいらしい。ムーミンに出てくるニョロニョロのようにあちこちで伸びている。後で画像を調べるとカベタケ？という名前らしい。ここから残りの下山をするが、今度は長い。一度、道を見失うが、スマホのアプリで確認し、道なき道を直進した。堰堤を左に巻くと道が再び現れた。また長い林道を下り、ようやく駐車場到着。

その後は、産直で買い物し、鹿の湯（700円）で汗を流す。昨日の夕食と同じ場所で、鹿の湯で買ったカップ麺、カップ焼きそばを食べ、腹を満たす。

加藤さんが、山で取った花猪口（ジゴボウ）を産直で買った地元みそでキノコ汁を作ってくれた。味噌がよいのか、キノコがうまいのか、今まで食べたキノコ汁ではナンバーワンの味だった。その後、帰路につき、長泉に戻った。翌日、翌々日と筋肉痛が取れなかった。

以上

その他の記述（後藤）

1. 2018年との比較

	前回	今回
十字路	5 : 45	5 : 34
立場山	7 : 55 2時間10分	7 : 40 2時間6分
三峰ルンゼ取付	9 : 20 1時間25分	9 : 28 1時間48分
阿弥陀岳	10 : 05 45分	10 : 40 1時間12分
阿弥陀岳	10 : 30	11 : 12
広河原沢出合	12 : 00 1時間30分	13 : 27 2時間15分
十字路	13 : 23 1時間23分	14 : 22 55分

*結果的に、全体で約1時間の違いだが、これはルンゼでザイル使用か未使用かの差。広河原沢出合から十字路の差は、休憩時間の差と思われる。4年経過でも時間は変わらなかった。

- 2. 前は南稜で何人か会ったが、今回はゼロだった。
- 3. 三峰ルンゼでザイルを使用の場合は、40mが欲しい。ビレイポイントは、リングボルトがニヶ所のみ。立木・岩もない。
- 4. 山頂にいた犬は、足まで衣服を纏っていた。あれでは犬が可愛そうだね。
- 5. 今回は、サイコーに厳しかった。山頂の阿弥陀様にお経を一巻。思わず眼がしらが熱くなった。
- 6. 中央稜下降は問題ない。広河原沢出合が荒れていて、ルートが分かり難かった。
- 7. 原村の産直は素晴らしい。カボチャ・キュウリ・ミョウガ・ソバ・リンゴ（シナノ・ドルチェ）を購入。



バックは権現岳、左が三ツ頭



三峰ルンゼ（下から撮影）



三峰下のトラバース

